



小田原なぎさ会通信

No.39

2025年10月1日発行

私たちは、「様々な障害を抱える皆さんがその方なりに自立した社会生活を送ること」を支援する活動に取り組んでいます。①気軽に立ち寄れる通所型の施設運営、②共生社会の実現に向けた普及啓発、③色々なところと力をあわせて(協力・協働)より効果的な支援を目指す連携、が事業の中心です。

つながりを広げ、更なる連携・協働へ

理事長 乾 恒雄



今年の夏は日本全国で異常とも思える猛暑が続く中、大雨による自然災害が発生するなど、急速に「日本の亜熱帯化」が進んでいるようにも感じています。また、同じような現象が世界各国でも起こっている様です。今こそ「世界中のみんなが力を合わせて、もっと真剣に気候変動対策を進めていかななくては！」と強く感じます。

さて、今年度も基本方針として「現在取り組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く」ことを掲げて、計画した活動を概ね順調に推進しております。

1年の最大イベントである「2025年(令和7年)度の通常総会」を、会員の皆様と共にご来賓をお招きして5月27日に開催し、無事終了いたしました。当法人の更なる発展に向け、新役員を迎え入れ新しい体制での法人運営を開始しています。販売好調な自主製品エコマグネットは、次世代タイプ(GⅡ)へ進化させ更なる高工賃化を実現すると共に、他の障害福祉団体へ製作権利無償譲渡を進めました(詳細次ページ参照)。

また、「私達の活動の原点は普及啓発」にあると捉え、色々な機会を活用して普及啓発に取り組んでいます。その道は険しく一朝一夕に社会が変わるものではありませんが、多様性の社会の中で「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らす地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい」を大切に、1人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を広げていきましょう。



上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減 等)への取り組みによる『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると考えております。

引き続き、ご理解とご協力、そして協働をよろしくお願いいたします。

＜新任理事のご紹介・ご挨拶＞ 今年度から新しく理事に就任しました上野さん・北原さんをご紹介します。

今年の3月に再就職先を退職して時間にもゆとりができ、微力ながらこの会のお力になればと考えています。小田原市東町に住んでおり、息子達は独立して妻と犬と3人？でのんびり暮らしております。趣味は愛犬とのお散歩、お馬さんとお散歩、です。散歩に耐えられる体力維持のため、毎日の筋力トレーニングが日課です。今後ともよろしくお願いいたします。 上野 友義



2022年の5月から、なぎさでパソコン教室の講師をさせていただいています。南足柄市在住です。ご縁あって、なぎさ祭や誕生会・収穫祭・バス旅行などにも参加させていただき、毎回笑顔と元気をもらっています！このたび理事という新しい立場になりましたが、肩の力を抜いて、皆さんと一緒に楽しく活動していけたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします！ 左の写真はAIを使って作ったものです。 北原 淑行

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「なぎさ」(地域活動支援センター)での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

SDGs パートナー活動と新たな連携・協働の進展

神奈川県及び小田原市の SDGs パートナーとして、障害福祉分野を中心に各種活動に取り組んでいます。

かながわ SDGs パートナー取組み 等

「かながわ SDGs パートナーミーティング」や「企業・NPO・学校パートナーミーティング」に参加するなど、活動分野を超えた企業や団体との出会いから新たな連携や協働に向けて継続的に可能性を探索しています。

おだわら SDGs パートナー取組み 等

(詳細は小田原市 HP「みんなで SDGs を学ぼう」で検索)



昨年に引き続き、小田原市企画『夏休み子ども SDGs イベント』に参画し、エコマグネットを子ども達と一緒に作ることを通して、障害福祉への取組みやエコキャップ活動とエコマグネットのつながりを紹介するなど、当法人では色々な視点から SDGs 推進に取り組んでいることや児童の皆さんにもできる SDGs の取組みがあることなどをお話させていただきました。定員 20 名を超える参加で、盛況なイベントになりました。



引き続き、SDGs への取組みや行政機関などとのつながりを深める中で、活動分野や立場の違いに捉われないことなく広く連携・協働を推進し、私たちの活動を発展させていきます。

エコマグネットの進化と製作権利無償譲渡(3)

コロナ禍で生み出した自主製品エコマグネットは、初代タイプ(G I)から次世代タイプ(G II)へ進化させ、G II の本格的な製作及び販売を開始しています。また、他の障害福祉団体へ製作権利無償譲渡も着実に推進しています。

進化するエコマグネット (G I ⇒ G II)

アップサイクル(Upcycle)自主製品『エコマグネット』は、2020 年創出当初の G I から本年実用化の G II へ、基本的な構造設計を変更し進化しました。これにより、①材料費などのコストダウン 25%達成と共に、②シンプルな製作工程にすることによる製作時間半減以下を達成しました。この結果として「利用者さんの工賃を大幅に向上」することが出来ています。

1 万個達成の G I

新開発の G II



外観は全く同じですが、構造に大きな違いが

利用者さんから「作りやすくなってとても嬉しい!!!」との声が異口同音に出ていて、進化させた者としても幸甚の至ります。

他の障害福祉団体へ製作・販売権利を無償譲渡



G I 技術登録



G II 技術登録

「製作及び販売を希望する他の活動団体でもエコマグネットを活用していただくことで、障害福祉推進のお役にたてれば嬉しい!!!」との想いから、当法人内に留めず『他の障害福祉団体へ広く権利開放を進めています』。現時点までに就労継続支援 B 型事業所を運営している 3 団体への無償譲渡を完了しました。これらの団体とはお互いに製作応援や販売ノウハウ共有など、色々な形で協働が始まっています。

一般販売の拡大や他団体への無償譲渡に向けて、事前に技術と製品の保護を目的とした技術出願を行い、現時点で G I ・ G II 共に特許庁より実用新案として登録されています。これにより、エコマグネットの技術を公知化して、当法人と共に譲渡先の団体に対しても心無い外部の攻撃に対抗し、安心して製作・販売ができる体制を整えています。

「エコマグネット」を通して、私たちが取り組んでいる障害福祉活動を広く認知していただくと共に、その製作販売権利を開放することで、当法人運営施設の利用者だけでなく、他の障害福祉団体の利用者に対しても作業確保と工賃アップなどへの間接的な貢献を進め、障害を持つ方々の支援を更に広げています。この動きを更に拡大展開して行きたいと考えております。

普及啓発と地域交流

第12回なぎさ祭

2025.9.26 実施

地域との絆を深めた、笑顔あふれる一日

今年も「第12回なぎさ祭」を開催し、ご来場いただいた地域の皆様と利用者、そして役員・職員・会員が一体となり、たくさんの笑顔と活気に満ちた時間を共有することができました。

恒例のビンゴゲームでは「くじ引きで景品を選ぶ」という形式に変更したところ、予想以上に盛り上がりました！

当法人が開催する「なぎさ祭」は、どなたでも参加できます！

これからも私たちは、共生社会の構築を目指し、地域の皆様とのふれあいを大切にして温かい場所づくりに努めてまいります。

南鴨宮夏祭り

2025.8.9 参加

エコマグネット 地域のお祭りにデビュー!!

「笑顔と感謝を力に！南鴨宮夏祭りで自主製品を初販売」

「自分で作ったエコマグネットが売れて嬉しかった！」という

利用者さんの声。この経験が、障害をもつ利用者みなさんにとって大きな自信となり、今後の活動への意欲にも繋がっています。

お買い上げいただいた地域の皆様、そして準備・運営にご協力いただいたお祭り関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

運営施設『なぎさ』での活動紹介

① パソコン教室 ～始まりから この先へ～

パソコン教室は、触れる機会もないままの利用者に「先ずは電源を入れるところからやってみよう！」と約15年前に始まりました。今ではネット検索など、日常生活で活用するまでパソコンの用途が広がっています。基本的なところから応用まで、幅広く利用者が楽しみながら学べる機会の提供を大切にしています。



講師からのメッセージ：参加者の興味や関心に応じて Word・Excel・PowerPoint を勉強し、詩の清書や自分の気持ちを書いたりイベントでのゲーム得点表を作成したりしています。最近では AI の色々な使い方を試し始めており、更に質問の答え探しや画書きなど AI の様々な使い方などにもチャレンジしていくのもいいかと思っています。 北原淑行

《利用者さんの声》

- ・先生が親切に丁寧に教えてくださり、今はワードを主に教えてもらっていて詩を入力しています。 R.T さん
- ・AI に色々な質問をしたりして、少しハマっています。 Y.K さん
- ・誕生会の委員で使うゲームの表の作り方を教えていただけてありがたいです。 Y.S さん

② 習字教室 ～新しい講師のもとで再開（2025/9）～

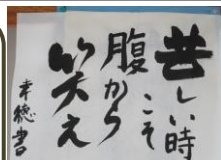
無認可作業所時代に習字教室を担当していた職員に、法人創立後も引続き指導を依頼したのが始まりでした。その後講師は何人かにバトンタッチされてきましたが、どの講師も各々の持ち味を発揮していただき人気イベントになっています。習字という独特の世界で各々の利用者が自己表現を楽しむひと時になれば嬉しいです。



講師からのメッセージ：9月から書道講師として参加し始めたところです。文字には書き手の個性が表れます。お一人おひとりの個性を大切にし、毎回楽しく書に取り組めるよう丁寧にサポートしてまいります。同じ言葉でも書体や線の強弱を変えて表現すると、作品の雰囲気が大きく変わります。参加する皆さんと一緒に、様々な表現方法を少しずつ学んでいきたいと思っています。よろしく願いいたします。 丸田和江

《利用者さんの声》

- ・最近、毛筆にチャレンジを始めました。普通に書くのいいけど、くだけた感じの面白い表現や独自のアレンジを先生から教えていただき、楽しく参加しています。 Y.K さん
- ・先生は明るく元気な方で、習字を楽しみながらやらしてもらっています。 R.T さん
- ・習字をする前は字について何も考えなかったが、今はああだこうだと思うようになった。 T.N さん



※「短歌」のシリーズ企画についてはしばらくの間お休みさせていただきます。

事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

●今までの主な活動（R7年4月～R7年9月）

4/1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.38 発行	7/11	なぎさバス旅行(社会見学)実施：横浜方面
4/21	かながわSDGsパートナーMTG参加	7/22	第2回地域ネットワーク会議(近隣)開催
4/24	令和7年度第1回理事会開催	7/25	夏休み子供SDGsイベント開催(小田原市主催)
5/27	2025年(令和7年)度通常総会開催	7/29	平塚看護大学校「撫子祭」参加(普及啓発・Iマガネット販売)
6/10	第1回地域ネットワーク会議(広域)開催	8/9	「南鴨宮夏祭り」参加・出店(普及啓発・Iマガネット販売)
6/17	富士見ふれあいサロン参加	9/1	なぎさ防災訓練実施
6/20	農作業「収穫祭」開催	9/7	令和7年度第2回理事会開催
7/6	南鴨宮三区防災研修会参加	9/26	第12回なぎさ祭開催

●今後の主な活動予定（R7年10月～R8年3月）

10/1	機関紙 小田原なぎさ会通信 No.39 発行	11/15・16	おだわらツーデーマーチ参加(普及啓発・Iマガネット販売)
10/3	赤い羽根共同募金活動参加(共同募金会)	11/21	平塚看護大学校 地域密着健康教育企画実施
10/5	富士見地区スポーツフェスティバル参加	11/30	第10回 UMECO 祭り参加(普及啓発・Iマガネット販売)
10/11・12	国際医療福祉大学「潮風祭」参加	12/上旬	第3回地域ネットワーク会議(広域)開催
10/19	生きがいふれあいフェスティバル参加	12/19	クリスマス地域交流会開催
10/25	小田原ハートフェス参加(普及啓発・Iマガネット販売)	1/23	ハートメッセージ(県精連主催)参加(普及啓発・Iマガネット販売)
10/27	企業NPO学校パートナーMTG参加(県主催)	2/中旬	第4回地域ネットワーク会議(近隣)開催
10/31	「おたのしみ会」(市事連主催)参加	2/中旬	曽我山みかん狩り体験開催(協力：曽我山応援隊)
11/8	小田原いっせい防災訓練参加	2/21	おだわらつながる福祉展(普及啓発・Iマガネット販売)
11/9	新田公民館文化祭参加(普及啓発)	3/10	令和7年度第3回理事会開催

●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

★会員募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！

会員になっていただくことで、障害者の支援活動につながります。大切に考えていることは『皆さんの想いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：(個人) 入会金0円 年会費2,000円 (団体) 入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：(個人) 入会金0円 年会費1,000円/口 (団体) 入会金0円 年会費5,000円/口

★「寄附」というかたちで、小田原なぎさ会の活動を応援願います！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで、国税と地方税をあわせて寄附金額の最大50%が税額から控除されます。また、法人様からのご寄附の場合では損金算入限度額が拡大されます。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いには、便利な口座振替(年1回自動引き落とし)もございます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ)オダワラナギサカイ

*他銀行から振り込みの場合 (店名)〇九八(ゼロキュウハチ) (店番)098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店(普)0226591 トクヒ)オダワラナギサカイ

次号(No.40)は令和8年4月に発行予定です。当機関紙の感想や障害福祉に関する情報等がありましたら、下記メールアドレス(o-nagisa@nifty.com)までお寄せ願います。これからも、更に多くの皆様に愛される「小田原なぎさ会通信」を目指し、より良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

